

加入事業所	204 事業所	参加率 (事業所)	参加人数	106 人		
出席	92 事業所	45.1%	回答者	82 部	回収率	77.4%
				集計結果		

1 本日の居宅介護支援部会で取り上げた内容は参考になりましたか？

① 大変参考になった	73	89.0%
② 少し参考になった	9	11.0%
③ あまり参考にならなかった	0	0.0%
④ 参考にならなかった	0	0.0%
⑤ 未記入	0	0.0%
	82	

2 参考になった点

- ・本日の説明で虐待疑い通報後の対応の流れや方法が明らかになった。
- ・今まで包括に報告・相談しながらカンファレンス開催して指示や指導を受けてきたが、ケアマネの役割や行政や包括の対応の流れを知り、アセスメントの重要性や記録の重要性、虐待ケースに限らず日々の業務の重要性を改めて認識することができた。
- ・介護者の愚痴や相談もSOSとして意識を持って対応しようと改めることができた。
- ・包括の役割とケアマネの役割について役割分担が理解できた。
- ・虐待のパターンが理解できた。
- ・フロー流れについて理解できた。
- ・どこに通報するかなど対応方法がわかりました。
- ・細かく指標が表記されているので解りやすかった。サ短会議の際のチェックポイントも改めて気づきました。
- ・地域包括・・・（高齢・・・）役割（全体の流れ）
- ・虐待の基本的な対応と役割（エピソード記録の重要性）、医療機関の確認、服薬の把握、チェックシート
- ・新しい内容の話が聞けたこと。
- ・現場の状況がよく解っているため具体的な話が聞けたので参考になった。
- ・虐待対応の具体的な内容や詳細な内容が理解できました。できるだけ情報収集しアセスメントをしっかりとっておかないと感じました。資料内容が簡潔明瞭で盛りだくさんでとても良かった。
- ・ケアマネジャーの役割が理解できました。
- ・フローチャートが解りやすい。自分も過去に虐待ケースを担当した事があり、流れがわかっているとCMも動きやすいと思った。
- ・手順が具体的で良かったです。虐待の研修に行くといつも種類とか簡単な話ししかしないので権限や制限等
- ・体系的に理解できた。
- ・ケアマネジャーとしての役割は日常の業務でのアセスメント・事業所との情報共有等日々行なっている事につきる。
- ・記録も怠らず！！ がんばります。これは虐待？判断せずまずは包括に相談したい。
- ・CMの立場でどのように考え動くのかがはっきりした。
- ・以前より文章が明確になったこと。以後期待しております。
- ・通常業務の中に虐待状況の把握・記録の重要性。虐待対応マニュアルがあることがわかり活用したいと思いました。
- ・CMからの虐待通報はむずかしいと思います。今後は包括・事業所で連携して高齢者を守っていきたいと思います。
- ・包括支援センター、区役所、ケアマネの役割が何となくみえた。
- ・スーパーバイズは包括。
- ・虐待について相方の関係、背景を理解しながらも事実確認のための情報収集や客観的根拠を集める必要性を理解した。
- ・虐待を発見した時は1人で考えず、他ケアマネや地域包括センター等に相談して重大時に発展しない様にしたいと思います。
- ・虐待の分類は役に立ちそうです。ありがとうございます。

⇒参考になった点の続き

- ・今、どうしようか悩んでいるケースが2件あった為。チェックリストは判断しやすくなるので参考にしたい。
- ・ケアマネと包括の立ち位置がよく分かった。
- ・分かりやすいフローチャートと説明で理解が深まった。
- ・包括の介入後のケアマネの立ち位置に戸迷っていましたが根拠を示した説明をいただき納得できました。
- ・いろいろな質問が出ていねいに答えてくれた点。
- ・認定調査時に虐待ではと思うようなケースでは地域包括や高齢介護係に連絡して良いとの事で、調査時に観察を今以上にしようと思いました。
- ・CMが一人で悩まず、抱え込まない様、包括、行政チームで判断していく点はメッセージとして伝わったと思います。
- ・見守りを継続いくときもCM、介ゴ事業者との情報共有、方針を都度、確認していく必要があると改めて確認できた。(期間が長くなると薄れてしまうので)
- ・通報-相談の流れ、又、区で行っている対応を知ることができた。
- ・事例がたくさん聞けた。
- ・担当しているケースが虐待にあたるのか参考になった。
- ・虐待通報の際に「疑いレベル」を含めて「虐待予防発見チェックシート」を活用すると気になった根拠としてお互いわかりやすいと思いました。
- ・現在3件の「疑い」ケースを包括さんと連携して対応しています。虐待フローチャート等により、行政と包括との役割を整理していただき、大変わかりやすく理解できました。
- ・CMとしての立ち位置を具体的にきけた。
- ・対応マニュアルを教えてもらえた。
- ・ケアマネに期待されていることが理解できた。
- ・フローチャートの中の項目の説明までして下さったので、非常に良く判りました。人に説明出来るところまで理解出来たと思います。今までで一番ありがたい虐待の資料です。
- ・説明、講義の段取りもよくとてもわかりやすかった。
- ・介護者家族によりそっている、同調しているだけでは何も改善がないまま今日まで来たケースについて、より添う言葉かけを継続しながらも、罪悪感ではなく善意だと自信を持って通報や状況報告に努めていきたいと思えた。
- ・改マニュアルの内容やオレンジ本の存在を知れた。虐待に判断根拠が必要で、その基準がまとめられていてとても参考になりました。
- ・日常業務の中でも必ずCMが理解する必要がある内容であるためとても参考になった。フローチャートが解りやすくとても良かったです。
- ・CMと行政の対応の違いなど。
- ・通報してご家族から疑いをかけられそうになった場合の対応方法については大変参考になった。
- ・記録の積み重ね、どのポイントを押さえて記録をするか参考になった。
- ・現在包括支援センターへ相談しているケースがある為、流れ等が分かった。
- ・虐待のチェックシートや行政につなぐ流れについてわかり易く理解出来た。又、シートが頂けて良かった。
- ・通報したケアマネの立場を守る体制があるとわかった。
- ・ケアマネの立場は本人や家族により添う立場にある事から、申し渡しや対応の改善は包括や行政が担うと明文化されているとわかった。
- ・虐待家族の社会的、不適合がある場合は行政で対応の用意があるとわかった。
- ・ケアマネジャーの役割と包括支援センターと区の役割が良く理解できました。ありがとうございました。
- ・オレンジ本ダウンロードできること。
- ・渡邊係長の誠実さを感じ、いろいろと安心した。
- ・フローチャートで時系列で理解できた。
- ・ケアマネの役割が良く分かった。行政にもっと頼って良いのだと分かった。
- ・虐待の客観的事実を日頃のモニタリング時に情報を集め記録に残す事が大切ということを学んだ。質疑応答を聞き虐待ケースが複雑化していることを実感した。
- ・虐待事例をアツかったことがないので、今回の研修でイメージを深めることができた。記録の重要性や地域包括への連絡等、自分がどう行動するのかを理解することができた。

⇒参考になった点の続き

- ・虐待が複雑化している現状です。実際虐待と思われる場合も家族・本人が事実を隠す場合が多い。チェックリスト、リスクアセスメントシートなどを参考にしていきたい。
- ・仕方がないと思っていることで「人権侵害」になるということ。
- ・早めに地域包括支援センターに相談にのってもらう必要があること。
- ・地域包括支援センターを区の役割がよく分かりました。
- ・現在進行形で虐待ケースの対応を地域包括に相談し対応しています。今までの流れがマニュアルに添って行われていたことが改めてわかりました。
- ・「1人ですべて対応できない」と思うコトが大事だと感じました。チームで対応していくコトが大事だと改めて感じました。
- ・援護係の人のかかり方。
- ・研修内容を参考にしながら各包括と協力して対応ができるようになってゆけたらと思います。養護者や高齢者に寄り添ってゆける対応ができるようになってゆければと思います。
- ・CMとしていざという時に伝えるべき情報を把握している事。一人で悩まずに包括に相談して共にやっていく必要性
- ・行政、包括、ケアマネの役割が整理できた。
- ・流れが良く分かりました。
- ・包括の相談した後の動きが分かり、大変参考になった。
- ・往診医と介護の考えの違いも虐待にあたる
- ・行政の関わり、組織として動く
- ・普段からCMとして準備しておく情報収集について改めて確認することができた。
- ・4月から虐待への対応方法が変わったことは知っていたが内容が分かり今後視野を広げて業務に就くことができる。
- ・終了したケースで今思えば虐待であった事がある。今後、同じようなことがあった時の対応が大変、参考になった。
- ・チェックシートの活用は必要で分かりやすいと思った。
- ・色々なケースがあり、対応の仕方もあると思った。一人で悩まずに包括に相談する。
- ・包括と連携しているケースがあります。今後も情報共有して行きます。

3

参考にならなかった点(理由)

- ・活動の参考になった。？
- ・虐待を通報しても家族がどこかでまだコントロールできていて、暴力は継続していないし、食事、医療も不足していない場合はなかなか改善までの介入はされたいということ、逆に「やっぱりそうか」と参考になりました。
- ・すべて参考になった。
- ・特にない。経済的虐待は見えないことが多いです。(本人認知症)
- ・「何をもちて虐待なのか？」はとても疑問に感じるときがあります。身体的、経済的…の表面的なコトは理解していても各々意味および経緯はあるのでそこをアセスメントしきれ自信はありません。
- ・事例が欲しかった。
- ・色々なパターンやケース、状況(生活環境や金銭、家族構成など)によってマニュアルだけではなかなか対応が難しい。

4 その他(意見感想など)

- ・対応方法の共有は必須のことがよく理解できました。
- ・包括支援センターごとの対応の差があるように感じてしまう。質問にあった『玄関に鍵』の件について包括に話したが、「要介護の方なのでケアマネが対応してください。」と言われたことがある。
- ・包括に相談するしかないという点から、虐待は包括に任せろという資質の向上を望みます。後方支援としてついでに安心してケアマネジメントを行ないたい。協働支援を今後やっていきたい。
- ・子供の虐待のキャンペーンはあるが、高齢者虐待のキャンペーンがほしい。
- ・聞きやすく解りやすい講演でした。ありがとうございました。
- ・毎月のモニタリング・ヘルパー・通所等の報告にしっかり目を通し確認し、生活・家族状況を把握していきたいと思います。
- ・大なり小なり虐待ケースは増加していると思う。CMの役割として疑問の目を持つことが大事だと思った。

- ・安全と虐待紙一重の事もあり、又家族は一生懸命でありそれらを虐待ととらえたり包括を呼ぶのもとっても難しいと思いました。(包括に見守り調査等で入ってもらったりしますが)。責任は行政というのに方法論・手段は専門性として包括にまる投げ？行政は何も考えないのか。フォロー図を見ると基幹と行政は必要に応じつつ指揮を取ったり支援はしないのか？ フォロー図に何も書いていない。何もしない？

- ・資料に実際の事例もあれば良いと思いました。
- ・判断に迷う時には包括へ相談をしていきたいと思います。

- ・ありがとうございました。
- ・難しいと感じました。親族の同意を得ずに保護者の帰宅や養護者への支援など。また少しの言葉の遣い方で変わってしまう事など。
- ・知れば知るほどむずかしいのかと思います。事例は皆一つ一つ対応が違うんでしょう。
- ・私は最近、草加市から足立区へ異動して業務を行っていますが、草加市より具体的な援助の方法が実施されていると感じた。
- ・パワーポイントより、今後活用できる資料つきレジュメが有りが良かった。ありがとうございました。
- ・養護者支援(生活保護、保健師へつなぐ)についての内容を伺えて実になりました。
- ・とても詳しく説明していただきわかりやすかったです。またマイクの音量も聞こえやすかったです。ありがとうございました。資料もわかりやすいです。
- ・地域包括支援センターの職員の質が均一ではない為、「相談」に時間をとられてしまうことが多い。
- ・包括によって対応の仕方に大きな差を感じました。
- ・記録がとても大事であると感じています。報告するにも様々な根拠がとても大事なので、今は大事でなくても後から大事になる記録もあると思います。でも経過記載はとても手間がかかるので大変だなーとプランだけじゃないなーと。
- ・包括に言っても「ケアマネがネグレクト、ネグレクトさわぐな。あの家はいつもあんな感じだから。」と言われ何もなし。保健師もそう。言うのもおこられるし、何もしないからどうしていいかわからない。ケアマネよりももっと包括や保健師にしっかりとって欲しい。(ケアマネが悪者になった事がある。包括には何も期待しない。)
- ・会場が寒かったです…
- ・法律が整備されたからや通報義務があるからチェックするのではなく、介護者や家族の支援が常に必要であると感じた。
- ・医療との関係。
- ・チームの方針が統一しにくいこともあり得るので、日頃からCM、包括との信頼関係をつくっておくこともkeyになると思いました。
- ・解決策はどこにあるのか、本人のADL低下を待つこともある気がします。
- ・虐待への考え方等、再認識できてよかったです。
- ・とても勉強になりました。行政の見解が聞けてよかったです。
- ・わかりやすかった。
- ・「虐待」はいつでも起こりうることを充分理解して日頃から関わるのが重要だと実感しました。

⇒その他(意見感想など)の続き

- ・ 養護者をチームに繋げるまでが仕事と説明がありましたが、本人不在の状況で実際きびしいなと正直なところの意見です。
- ・ 虐待として通報された。こんなに介護をがんばっているのに悪いのは私なんですか!?と言われたことが忘れられません。傷つけてしまったこと悔やまれます。通報したら、その家族が必ず救われるというしくみがほしいです。
- ・ みなさんの質問と回答が具体的で参考になりました。
- ・ 包括支援センターの役割がみえてとても良かった。
- ・ とても聞き取りやすかった。
- ・ 数年前に虐待ケースに関わった際はまだこのようなマニュアルや対応方法分からずにいました。
- ・ 人として、事業所(者)として、介護者としてのモラル、意識が低いと虐待の発見や防止は難しい(介護の業界)かと思えます。
- ・ 包括の方々の対応が必ずしも均一ではなく、ケアマネからのSOSに対応してくださらない事もあり苦労することもあります。

5

今後、部会で取り上げて欲しい内容

- ・ 成年後見制度について
- ・ ターミナルで在宅での生活をするにあたり、往診医・訪問看護との関り方で、本人・家族の意向が違って来た時の対応等。
- ・ 運営基準の再確認、指導検査をするのであれば再確認したいです。区によって多少なり違うので。
- ・ 実施指導の時には、どのような流れでどのように行うのか。チェックするポイント、アセスメント用紙に記入する日付、ケアプラン作成日時など。
- ・ 虐待と関連して身体拘束。質問にもあった事業所によるカギかけについて改めて取り上げてほしい。状況によっては従事者虐待にあたると思います。かなり大手の事業所で発覚し、指摘しましたがまったく理解されていませんでした。
- ・ 今後ともよろしくお願いします。
- ・ 高齢者サービスの実際の利用内容(具体的な)。機能しているかどうか。利用した場合のメリット・デメリット。実際の細かい利用フロー。
- ・ 他法、区施策等と介護保険法の関連、優先順位等。
- ・ 医療との連携、足立区版CMタイム、主治医等との連携シートの的なものの提案に資する取り組み。
- ・ 30年法改正について。
- ・ 宜しくお願い致します。「次期法改正のポイント」
- ・ キレイな経過記録の書き方。
- ・ 包括の役割(詳細・分担)について
- ・ 無理難題を言ってくる利用者への対応について